

熊本厩雄教授年譜及び研究業績

年 譜 概 略

明治42年1 月 1 日	鹿児島県熊毛郡上屋久町志戸子37番地 2 号にて出生
昭和 7 年 3 月	長崎高等商業学校卒業
昭和 7 年 4 月 } 昭和20年 4 月 }	この間、主として旧制中等学校における商業科教員
昭和20年 4 月	兵庫県立神戸経済専門学校助教授
昭和23年 8 月	〃 教授
昭和23年11月	鹿児島高等学校教諭(第四部勤務)
昭和25年 1 月	文部省大学教員資格審査により助教授の判定を受く
昭和25年 4 月	鹿児島県立大学助教授，短期大学部勤務
昭和33年 4 月	鹿児島県立大学助教授
昭和35年 5 月 } 昭和37年 4 月 }	〃 第二部主事兼務
昭和36年 1 月	文部省大学教員資格審査により教授の判定を受く
昭和36年 4 月	鹿児島県立短期大学教授
昭和37年 5 月 } 昭和41年 4 月 }	〃 厚生課長兼務
昭和43年 5 月 } 昭和45年 4 月 }	〃 第二部部長兼務
昭和47年 4 月 } 昭和49年 3 月 }	〃 第二部部長兼務
昭和49年 3 月31日	定年により鹿児島県立短期大学退官予定

現在及び退職後の現住所

鹿児島市紫原 1 丁目48番24号

主 な 研 究 業 績

論 文

改正商法における資本会計	鹿県立短大「紀 要」第 1 号(1952年)
後入先出法について	〃 「商経論叢」第 1 号(1952年)
財務諸表の体系	〃 〃 第 2 号(1953年)
低下主義評価損の表示について	〃 〃 第 4 号(1955年)
棚卸資産の期末評価	〃 〃 第 5 号(1956年)
割賦販売会計論の展望	〃 「紀 要」第 9 号(1958年)
引当金について	〃 〃 第10号(1959年)
会計行為の恣意性について	〃 〃 第11号(1960年)
株式配当本質論	〃 「商経論叢」第 9 号(1960年)
商法における引当金の考察	〃 〃 第14号(1965年)
繰延資産について	〃 「紀 要」第16号(1965年)
損益計算書における総額主義の原則	〃 「商経論叢」第15号(1966年)
国庫補助金(建設助成金)の性格論展望	〃 「紀 要」第19号(1968年)
継続性の原則について	〃 「商経論叢」第19号(1971年 3 月)
無償取得固定資産の評価	〃 〃 第20号(1971年12月)
企業会計原則修正案の問題点	「松山商大論集」 第22号 3 号(1971年 7 月)
商法の包括規定と公正な会計慣行	鹿県立短大「商経論叢」第22号(1973年)

著 書

会計学講義	(プリント印刷) 1953年 3 月
財務会計学論集	(自 費 出 版) 1972年 6 月

執筆 者 紹 介 (掲載順)

熊 本 帛 雄	本 学 教 授
中 村 謙	福 岡 大 学 教 授
佐 伯 直 秀	鹿 児 島 大 学 教 授
山 崎 俊 夫	大 阪 外 国 語 大 学 教 授
高 田 駒 次 郎	西 南 学 院 大 学 助 教 授
福 丸 馨 一	本 学 教 授
高 向 嘉 昭	本 学 助 教 授
楠 元 茂	本 学 助 教 授
橋 口 幸 夫	本 学 助 教 授
横 山 政 敏	本 学 専 任 講 師
伊 伏 彰	本 学 助 教 授
児 嶋 正 男	本 学 助 教 授

編 集 委 員

横 山 政 敏
黒 瀬 文 平
伊 伏 彰

鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 商 経 論 叢 第 22 号

昭 和 48 年 12 月 15 日 印 刷

昭 和 48 年 12 月 20 日 発 行

発 行 者 鹿 児 島 県 立 短 期 大 学
〒890 鹿 児 島 市 下 伊 敷 町 44

編 集 者 商 経 論 叢 編 集 委 員 会

印 刷 所 昭 和 プ リ ン ト 鹿 児 島 支 店
鹿 児 島 市 堀 江 町 16-11 TEL ㊟ 4351

